

褒
赤毛ノ
物語
お祭り
語

Tsubasa Reward
For Adult Only



木々良阿

お邪魔します

ああ
羽川か…
大分早かったな

妹さんたちは？

今は居ないな
…大方正義ごっここの
最中なんだと思うけど

彼女、羽川翼は
猫や虎——連の怪異と決着し
今度こそ
『普通の女の子』になった

ん、まあ…
私から言い出したことだし
待たせたら悪いかなって

まあ、僕の部屋で
恐縮だけど…

—と戦場ヶ原からは聞いています。
多くを聞くことはできなかつたが
当時の羽川は
かなり不安定だったらしい

ガキヤツ…



えっ…あれって冗談じゃなかったのか

たじ…

ううん、本気だよあの時も言ったけど



んん

私の身体の柔らかいところ…全部好きにしてもいいよ、って



が、眼球を舐めるのはいかなのか？

いや、今コンタクトだし読者のにもちよつと…



…人をどこぞのフアツション変態と一緒にされては困るなア羽川さん…!!

もう名古屋コーチンがどうとか臍で茶を沸かすレベルだよな人間強度と一緒に度胸も下がっちゃったのかもねー

まあ阿良々木君チキンだしね変態なのは地の文か身内か非實在青少年の八九寺ちゃん相手だけいやチキンなのは知ってたけどね



はあ～

あーあまた阿良々木君に恥かかされちゃうんだ…体育倉庫の時も茂みに連れ込まれた時も私結構色々覚悟してたんだけどなー

むに



おそろいになったもの
 ーと、いうことになったものの



ええのんか
 って...

グキ

もう、しつこい
 ー褒美だって言ったじゃない

ほ、本当にええのんか？
 後からやっぱり一生軽蔑します
 とかないよな？



や、やっぱり
 ちよつと改まると
 恥ずかしい...ね

もじっ
 っ
 っ
 っ
 っ



あ…いきなり乳首ぼっかりっ…
だめっ…いじめちゃっ…



ぐわ…

じゃ、じゃあ今度こそ
失礼します…

ぐわ
ぐわ



微かに汗ばんで
もっちりとした感触が…
吸い付いてくるような

ぐわ…



す、すげえっ…!!
凄く柔らかさだ…
指が沈み込むなんて

ぐわ
ぐわ



…こっちにもまだ
柔らかい部分がある…よね?



…阿良々木君
すっかりおっぱいに
夢中だね♡

これが…っ
これが羽川のおっぱい…!!

でも

ぐわ



「アッ」

「あー」

胸弄ってただけなのに
これだけトロけてるなんて…
もしかして羽川…



「スッ」



あ、指、入っ…♡
いっ…は、あ♡お、とっ♡

あ、熱ッ！
それに滅茶苦茶ヌメって
指二本がこんなにあっさり…

ぬるるっ♡



阿良々木君のも…
ガチガチになつて…苦しそう

ん…ふふっ♡

お、おい羽川っ…!!

「ぐっ」

「あー」



阿良々木君の精子
熱いけど味はよく
分からないかな

ぽっ

ごめんっ！
羽川！

ド
ロ
ッ

ぜ、全然萎えない…

阿良々木君

…いやそれよりも
勢いとはいえ
とんでもないことを…

サァッ

それ…まだみただし
最後までしちやおつか？

ま

待つてくれ羽川
その申し出は大
魅力的というか
身に余ると言っ
身にかし戦場ヶ原
しのかし観念と
をの貞操観念と
並の貞操観念と
なかんずく彼女
いや惜しくもない
れば勿論そんない

いや、まあここまで
やっておいて
今更だと思うけど

何ぞの力ネ

んごめん
ちよつと今の言い方は
ズルかった…かな

ちゃんと言い直すから

私をー羽川翼を抱いて欲しいの

私が
阿良々木君と
…したい

お願いします

前の私だったら…
このまま卒業して…
阿良々木君のこと諦めて
旅に出てたかもしれない…

でもッ！

でもやっぱり…
本当はずつと…

だからッ…

羽川翼は—
『普通の女の子』になった

お願い…

それはつまり—
家族との不和
それに起因する
ストレスも

僕や周囲の人間に
向けられていた
嫉妬という感情も

分かったよ
羽川

怪異として切り離さず
自分で受け止める
ということだ

多分、一連の事件が
終わった後も—
僕と勉強している間も—

だから羽川
お前に同情したり
は決してしない

僕はただ—
欲情しているだけで
この身体を使つて
欲求不満を解消する…
それだけだ

でも…勘違いはするなよ

ズッ
ズッ

お前の気持ちとは勿論
僕の気持ちとも関係ない

それでも—



あれだけ濡れて
ヌメつてたのにッ...!
羽川の膣内、すげえ
キツいッ...!



えへ...
阿良々木君のだから...かな
思ってたより痛くない...よ



やっぱり血が...!
お、おい...?

それより...いっぱい
動いて...気持よくなつて



くそっ
急に可愛く
なりやがって！

ガッ
ぼっ
羽川ッ！



んむっ...



んむっ...♡

ぴちゅ♡



射
精
る
！

う
お
っ
急
に
締
め
付
け
と
愛
液
の
量
が
ツ
...

あはっ、...キスしたらっ
お腹の奥...熱くなって...♡

うおっ
急に締め付けと
愛液の量がツ...

いい...よっ...このまま射精して
腔内射精...おまんこに...頂戴♡



こつちのほうか
体勢のほうがいいかな...?



んッ...



あ〜♡



次は...私が上で動くね

お、おい無理は...



ザーメンとおまんこ汁でグチャグチャになった私のおまんこ...どつちが気持ちいのかな、って

え、え？

ねえ 戦場ヶ原さんとはもう...したの？

何言い出すんだよ突然...それに羽川の口からそんな下品な言葉...

ん、阿良々木君は気づいてないかもだけど やらしいコト言うからね...

ズキョッ

ズキョッ

ぐちゃぐちゃ

ぐちゃぐちゃ

ぐちゃぐちゃ



おちんぼが
ビクビクッ、って…
精子出したそうに
暴れてるんだからッ…!

膣内で大つきく…
硬く…なあってッ…

ズンッ
ズンッ

ズンッ

羽川…自分でも
下品な言葉を使いながら
興奮してるのか
さつきから肉装が
しゃぶりついてくるみたいだ



凄いつ…奥が…
トロけちやつてる…
ぐちゅぐちゅひどい音
立てちやつてるッ

ズンッ

おまんこ…いいっ…
ね、阿良々木君は…ッ
気持ち…いい?



…ッ このっ!
いいに決まってるだろ!
こんなに入り口まで
グズグズにしてっ

おっおっ
おっおっ

さつきまで処女だったクセに
早速チンマン言いながら
ガンガン腰振ってッ!

ズンッ



このエロ乳ツ！エロ穴がつ！
こんな身体を僕に抱かれるまで
持て余してたのかツ？

あ、阿良々木君にハメて…
ハメてもらったためだけに
こんないやらしい体に
頑張つて育て…ましたツ

ズブッ



限界だツ羽川ツ！
またイク！
このまま膣内^{なか}で射精^だすぞツ！



いいよっ…このまま膣内^{なか}で
でも…ね、最後名前^なで…ツ
呼んで…

「私の名前」で…
つばさ…って…
お願いツ！



阿良々木君のちんぽで…
いっばいおまんこ愛されて♡
グチャグチャにかき回されて…♡

精液と本気汁で白濁して泡立って…
もう出るっ出したッ！
羽川の…奥に射精したいッ！

も…ダメ…
私…おかしくなるッ
何か…来るっ♡いくッ♡

ずちゅっ



イツ…ちやつた…
おまん…こ…



四回目なのに
こんなにあつちやう

ごごめん…
僕あんまり余裕なくて…
初めてだったのにこんな

…もう、私からお願したのに
謝らないで欲しいなあ



んっ…♡

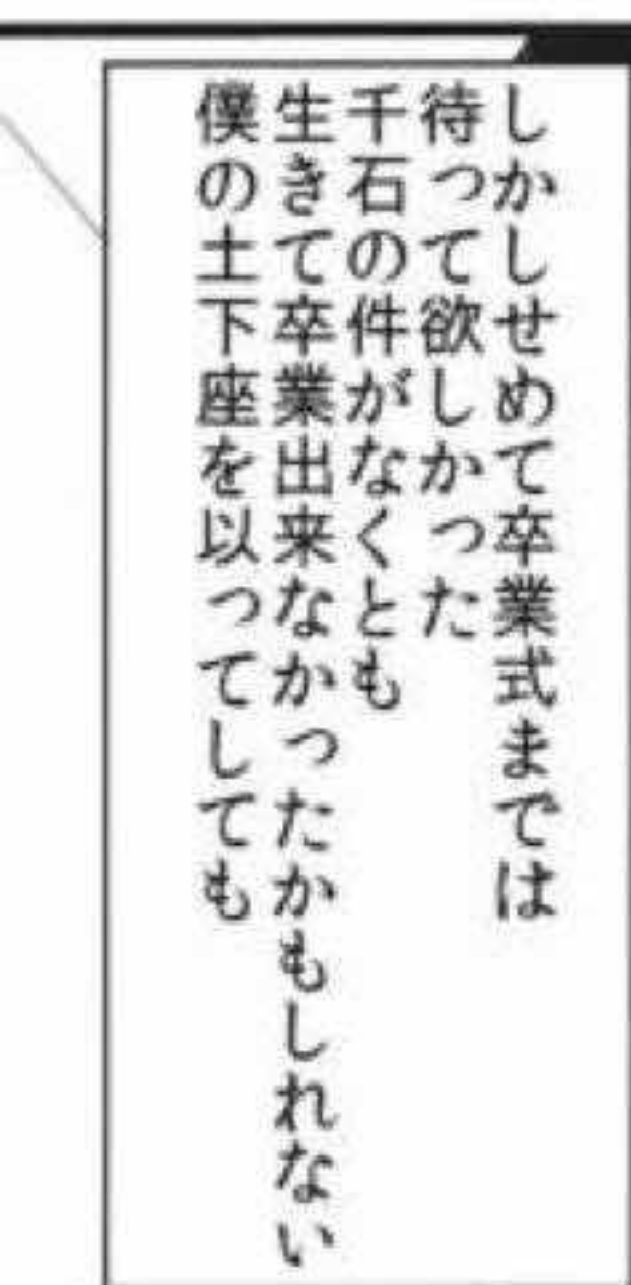
…あ♡

あ…ごめん、忘れてた

ん？

阿良々木君
合格おめでとー！

…今更かよ



PRESENTED BY

Ink Complex

